

本格始動！

『実践型地域雇用創造事業』

～未来へつなぐ「ひとづくり」「まちづくり」～

積丹町地域活性化協議会（構成6団体＋代表 山本商工会長）

では、厚生労働省からの委託を受けて実施している実践型地域雇用創造事業の事業推進員1人を平成24年12月に採用し、実践事業の実施に向けた準備を進めてきました。また、本年4月からは、新たに事業推進員を1名、実践支援員を3名（観光、水産、農産各1名）採用し、地域資源を活用した特産品の開発などに本格的に挑戦します。

成功事例視察研修

2月～3月の事業概要

●夕張市

（2月26日・参加者6人）



夕張市 ㈱夕張ツムラ

夕張市にある㈱夕張ツムラを訪問して生菓の栽培に関する事例を研修してきました。夕張ツムラでは、トウモロコシ等の栽培などに取り組んでいます。協議会では、今後、積丹町で栽培が可能な生菓を探るための試験栽培等に取り組んでいく予定です。

●豊浦町

（3月7日～8日・参加者6人）

豊浦町では、NPO法人「自然体験学校」を訪ね、体験観



豊浦町「自然体験学校」

光についての調査を行ってきました。このNPOは、多くの研修旅行生や観光客を受け入れており、漁業体験やものづくり体験、アウトドアスポーツ等のサービスの提供の状況を視察しました。

また、翌日には、札幌市にある北海道体験・comを訪問しました。ここでは、全国各地で実施されている体験観光を自社のホームページで発信している状況を視察しました。

●函館市

（3月14日～15日・参加者6人）

函館市では、水産食品製造業者3社と北海道立工業技術センターを訪ねました。食品会社では、工場を視察して、イカを原料とする加工品の製造工程、商品企画、販路開拓等についての研修を行いました。また、工業技術センターでは、センターと企業が共同で取り組んだ新商品の開発事例等についての研修を行いました。

地域資源発掘研修

●積丹町総合文化センター

（3月18日・参加者22人）

北海道立工業技術センターの吉岡主任研究員を講師に、鮮度保持技術や他地域での新商品開発事例などをテーマとするセミナーを開催し、水揚げされてからの時間経過に伴う魚体の変化や酸素を使った鮮度保持の方法、工業技術センターが関与した新商品開発の事例などについての研修を行いました。

体験観光基礎研修

●積丹町総合文化センター

（3月27日・参加者19人）



体験観光基礎研修

一般社団法人地域の魅力研究所理事の近藤氏を講師に、お客様や地域の観光コンセプトに合わせて適用出来る地域資源の発掘方法についての講義を受けた後、4人程度のグループを編成し、班ごとに積丹町の地域資源（景勝地、食資源、祭りなど）を拾い上げ、その資源を使って何ができるのかを検討し、発表しました。これらの資料等については、積丹町地域活性化協議会事務局で閲覧することができます。

【問合せ先】積丹町地域活性化協議会事務局（産業会館内）

TEL 0135-4816070

事業推進員 実践支援員 の紹介



事業推進員
いわき ふみき
岩城 史幸さん
(旭川市)

「積丹町内での雇用創出、また、事業者の方々や町民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。」



事業推進員
いたの ちえ子
板野 千恵子さん
(婦美町)

「初めての事務職で戸惑うばかりですが、よろしく願います。」

役割

■事業推進員
主に、この事業の進行管理、結果の取りまとめや関係機関及び関係団体との連絡調整・庶務などを行います。

■実践支援員
実践メニューに係る業務に直接従事します。

() 内は出身地もしくは居所



実践支援員（農産）
とうご まさひろ
東郷 昌弘さん
(京都府)

「今までの経験を活かして、農業の効率化や特産化、売れる農業を目指していきます。」



実践支援員（観光）
いしかわ かずとし
石川 一寿さん
(美国町)

「積丹観光活性化のため、一杯頑張ります。」



実践支援員（水産）
かくた いとみ
角田 愛美さん
(余別町)

「水揚げされる海の幸を活かし、昔ながらの味に斬新なアイデアを取り入れ未来へつなげる特産品づくりを目指していきたいです」

原子力防災への備え

「環境放射線測定データ表示装置」設置

国の指針に基づき、原子力災害対策を重点的に実施すべき地域を泊発電所から半径30km圏内（UPZ）へと拡大されたことに伴い、地域住民の安心・安全の観点から、泊発電所において原子力事故が発生した場合の防護対策に役立てるため、北海道が積丹町を含めた9町村を対象に、環境放射線を測定するモニタリングポストや測定データを表示する大型情報表示装置を新たに設置しました。

4月1日から役場1階に設置しているこの装置のディスプレイに、モニタリングポスト設置場所におけるリアルタイムの放射線測定データやその推移、気象情報などが表示され、最新の



マウスを使用し、ご自由に操作してください

【放射線量測定及び測定結果公表のイメージ】

大型情報表示端末（役場1Fホール） モニタリングポスト（美国町内）



原子力環境センター（共和町）



情報をご覧になれますので、ぜひ、役場を訪れたときなどに実際にこの装置に触れてみてください。

また、屋外の空間放射線を随所で測定できるサーベイメータ（携帯用測定器）、衛星携帯電話、車イスを乗せることができる機能を備えたワゴンタイプの車両などが整備されたほか、引き続き原子力防災資機材の整備が進められる予定であり、原子力災害発生時や防災訓練で活用を図っていきます。